

平成27年第3回定例会

一般質問通告書

流山市議会

平成27年第3回定例会一般質問通告順

日付	順番	議 員 名	会 派 名
9 月 8 日	1	野 田 宏 規	流 政 会
	2	森 田 洋 一	新 風 流 山
	3	西 川 誠 之	新 風 流 山
	4	加 藤 啓 子	自 由 民 主 党
	5	坂 卷 儀 一	流 政 会
	6	藤 井 俊 行	新 風 流 山
9 月 9 日	7	中 村 彰 男	自 由 民 主 党
	8	楠 山 栄 子	新 風 流 山
	9	笠 原 久 恵	流 政 会
	10	近 藤 美 保	流 政 会
	11	西 尾 段	新 風 流 山
	12	小田桐 仙	日 本 共 産 党
9 月 10 日	13	石 原 修 治	流 政 会
	14	徳 増 記代子	日 本 共 産 党
	15	植 田 和 子	日 本 共 産 党
	16	乾 紳一郎	日 本 共 産 党
	17	戸 辺 滋	公 明 党
	18	大 塚 洋 一	流 政 会
9 月 11 日	19	森 亮 二	流 政 会
	20	斉 藤 真 理	公 明 党
	21	阿 部 治 正	
	22	菅 野 浩 考	
	23	野 村 誠	公 明 党

質問事項	要 旨
<p>1 おおたかの森新市街地地区を中心としたまちづくりについて</p>	<p>(1) 区画整理の完了を平成 28 年度末に控えたおおたかの森新市街地地区は、建物が建ち、人が住むことで、街としての姿を表し始めている。これからのまちづくりに関して以下のとおり問う。</p> <p>ア 改めて、当該地区はどのような街にするのか。</p> <p>イ 市野谷の森県立公園化の進捗状況はどうか。</p> <p>ウ 当該地区の郵便ポストの配置をどう捉えているのか。</p> <p>エ 流山おおたかの森駅北口と西口を繋ぐ踏切は今後、どうなるのか。</p> <p>(2) おおたかの森新市街地地区の発展と共に、市内全域と新市街地地区の繋がりが重要になると考える。その繋がりの具体的な施策について以下のとおり問う。</p> <p>ア これからの高齢者の移動手段は何と捉えているのか。</p> <p>イ 初石駅の東口開設に向けた状況はどうか。</p>
<p>2 債権管理について</p>	<p>(1) 地方自治体が持つ債権は回収が徹底されない傾向がある。当局においては、債権回収対策室を設け、尽力されている。そこで、債権管理のあり方について以下のとおり問う。</p> <p>ア 債権回収対策室の把握する未収債権が一部分であるのはなぜか。</p> <p>イ 債権回収に関して条例を設けず、債権回収対策室が市税と強制徴収公債権のみを扱うのはなぜか。</p> <p>ウ 児童手当からの保育料と給食費の天引きが可能だが、その制度の利用は検討しているのか。</p> <p>エ 今後、どのような庁内体制が望ましいと考えるのか。</p>
<p>3 情報のあり方について</p>	<p>(1) オープンデータの利活用によって、よりよいまちづくりができると考える。これからの情報のあり方について以下のとおり問う。</p> <p>ア 将来的な情報のあり方をどう捉えているのか。</p> <p>イ オープンデータに関する庁内の意識改革はどのような状況か。</p> <p>ウ オープンデータトライアルの強化について、どのような施策を予定しているのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 子育て施策について</p>	<p>(1) これまで、市は共働き子どもあり世帯を中心にマーケティング戦略の一環として住民誘致に努めてきた。同時に保育所の整備や駅前送迎保育ステーションなど新規の住民に対して市民満足度を高める政策を展開してきたと考えるが子育て関連施設の充実にに関して当局の見解を問う。</p> <p>(2) 待機児童解消策と将来的な人口減少を考慮して保育所と老人ホームの機能が一体となった施設整備を市川市の事例を参考にして進めてきた中で現状の成果と課題をどのように整理しているのか。</p> <p>(3) 横浜市が進めてきた待機児童ゼロに向けた取り組みとして保育コンシェルジュの導入がある。この制度は保育園に入れなかった方達を対象に追跡調査や聞き取りをして、個別に抱えている問題を解決する制度である。今年の8月から流山市でも子育てコーディネーターの制度を導入しているが、設置の目的と今後の方向性を問う。</p>
<p>2 上下水道部門の統合に関する諸課題について</p>	<p>(1) 上水道と下水道の部局が一体化して数か月が経過している。人件費や諸経費の削減、組織のスリム化などその効果と課題を現状どのように捉えているのか。群馬県太田市では、浄水場の運転管理、給水、料金徴収、決算業務などほとんどの業務を民間企業に、包括委託している。この制度を参考に流山市でも民間企業への包括委託方式を検討すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 平成26年度より、上水道部門の企業債は、公営企業としての貸借対照表上、負債の部に計上し、会計処理を実施している。それまでは、資本の部に計上されていた。負債の部に計上されたことにより、経営分析の指標や考え方もこれまでとは変わると考えるが、当局はどのように捉えているのか、課題と方向性について問う。また、下水道部門の地方債についての課題と方向性はどのように捉えているのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市民参加の実態について</p>	<p>(1)平成24年10月1日より流山市市民参加条例を施行しているが、本市では現在市主催のタウンミーティング、各種審議会、協議会、パブリックコメント等多様な手法で市民参加の機会が与えられているが、当該市民参加の実態について問う。</p> <p>ア タウンミーティングへの参加者数については、平成25年度・平成26年度最少6名から最多48名であるが、平成23年度・平成24年度と比較して減少傾向にある。このような事例を見ると市政に対する市民の関心が、低くなっていると考えますが、市長はどう考えているのか。</p> <p>イ 公募委員を含む同一委員による複数の審議会等の委員の兼職を行わない兼職制限や女性委員の確保に一定の目標をもって取り組んでいるが、今後の方針はどうか。各地域から一人でも参加してもらうなど地域性の偏りをなくす対応策についてどのように考えるのか。</p> <p>ウ パブリックコメント・意見交換会・公聴会・政策提案制度アンケート調査・ワークショップなどに参加する市民に、偏りがあるのか。またその対応についてはどう考えているのか。</p> <p>エ アンケート募集や市民会議の開催について無作為抽出での実施を考えていないのか。</p>
<p>2 本年度実施の「国勢調査」について</p>	<p>(1)5年に一度の「国勢調査」の調査準備が9月から始まる。調査対象は前回(平成22年)の64,921世帯を10%近くオーバーしている。調査対応について問う。</p> <p>ア 本年より初めて全国展開となる「ネット回答」の解禁にどう対応しているのか。どれほど期待しているのか。</p> <p>イ 小・中学校において「国勢調査」についての教育はされているのか。各家庭に指導内容を報告して、調査票早期回収の啓蒙に努めてはどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 流山市行財政経営戦略プランについて</p>	<p>(1) 流山市の総合計画を確実に実施するにあたって、「流山市行財政経営戦略プラン」はその財源等を確保するために大変重要である。平成 27 年度で 5 年間の戦略プランが終了するが、プランの成果はどうであったのか。次の下期実施計画においてはどのような戦略プランを考えているのかを問う。</p> <p>ア 「財政健全性と効率を追求する経営」の 5 つの戦略のうち、財政の自主財源の確保の強化についてはどう取り組んできたのか。</p> <p>イ 「後期基本計画の事業に見合った職員配置を、定員適正化計画に沿った人員数で行うよう、専門知識を有する人材を採用するなどの方策により、スリムな組織を構築します」とあるが、臨時職員等の採用やアウトソーシング先の人員についてはどのように計画しているのか。</p> <p>ウ 人事評価制度は全職員に導入されていると思うが、評価制度を導入する前と比べて、どのような効果があったのか。さらに今後はどのように進めていくのか。</p>
<p>2 流山市の教育問題について</p>	<p>(1) 流山市は文部科学省の「学校施設の個別施設計画策定支援事業」の委託契約者となったが、具体的にどのような計画で実施されるのか。</p> <p>(2) 「流山市総合教育会議」については、第 1 回目の会議が 7 月 31 日に行われたが、その設置の目的と今後の予定について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市道 1 1 8 号線の渋滞緩和への取り組みについて</p>	<p>(1) 市道 1 1 8 号線の運河駅周辺（東深井地区）の慢性的な交通渋滞緩和への当局の取り組みに関して以下 2 点について問う。</p> <p>ア 西深井地区の工業団地南側に建設予定の第三物流の建設計画内に主要地方道松戸野田線に抜ける新設道路計画が盛り込まれていると仄聞している。それに伴う市道 1 1 8 号線への交通流入及び市道 1 1 8 号線からの交通流入は建設中、そして完成後にどの程度増加すると推測されるのか。また交通量の変化に対する安全対策はどのように図られるのか。</p> <p>イ 松戸方面から野田方面に向かうにあたり渋滞の要因となるのは運河橋を渡った国道 1 6 号線へ抜ける丁字路での右折車による滞留が大きな課題と考える。そこで、渋滞解消の為にここに右折レーン新設を含めた交差点改良を早急に進めるべきと思うが、当局の見解を問う。</p>
<p>2 利根運河周辺の環境整備への取り組みについて</p>	<p>(1) 水運という本来の役目を終えて久しい利根運河は平成 1 8 年に選奨土木遺産に認定されるなど、その価値は高く、現在では市内外から人々を集め、様々なイベントが催される本市を代表する風光明媚な観光資源である。しかし、以前よりトイレの未整備が課題として挙げられており、運河水辺公園内のトイレ改修及びトイレ新設への取り組みについて問う。</p> <p>(2) 運河駅西口より運河橋へ抜ける東武野田線（通称東武アーバンパークライン）の線路沿い西側の歩道の損耗が激しい事からその改修が急務と考える。そこでお年寄りや障がい者の方も利用しやすいバリアフリーの観点から歩道整備の可能性について問う。</p> <p>(3) 平成 2 2 年度に策定された流山市総合計画後期基本計画では、利根運河（眺望の丘周辺）へ遊歩道橋を架ける計画が盛り込まれていたものと記憶する。現在、市のホームページを調べても見当たらないが、この計画の今後の方針について問う。</p>

質問事項	要 旨
1 カラーユニバーサルデザインの導入について	<p>(1) 平成 22 年第 4 回定例会の私の一般質問に対して、当局から、先進自治体、専門機関、障がい者からの情報を参考に配慮するとの答弁があった。そこで、これまで実施してきたカラーユニバーサルデザイン導入の経過と今後の展開について問う。</p>
2 本市の子育て支援策について	<p>(1) ファミリー・サポート・センターは、仕事と育児の両立を図るために必要な様々なサービスを提供しており、子育て支援の主要事業である。今後も人口増が見込まれる中、そのニーズは益々高まると予想される。そこで、本年 4 月からスタートした、子ども・子育て新制度の中で、今後のファミリー・サポート・センターの充実策はどのように進めていくのか。</p> <p>(2) 市では子育て世代の人口急増に対応して、保育所、学校、学童クラブなどの施設整備をはじめ、子育て支援に関わる様々な課題に取り組んでいる。一方では、NPO 法人やボランティア団体などが中心となり、子ども・子育て支援法に基づき、子育て支援事業の質の確保といった観点から、独自の活動を展開している。そこで、行政と民間の子育てネットワークの構築を目指し、こういった民間の活動についても支援していくべきと考えるが、当局の見解を問う。</p>
3 本市の母子保健事業について	<p>(1) 平成 27 年度から本市の母子保健計画がスタートしたが、現在の母子保健事業の進捗状況について問う。</p> <p>(2) 共働き等で、平日に市が開催する事業に参加できない家庭のために、土曜日や日曜日に開催する事業を充実して、より多くの方が参加できるようにすべきと考えるが、現在の開催状況と今後の方針について問う。</p>
4 土曜日・日曜日及び祝日の行政サービスについて	<p>(1) 本市は、市長が掲げる「母になるなら、流山市。」の旗印のもと共働き世帯や子育て世帯の誘致を積極的に展開している。その世代の方たちが多く望む声は、検診や講演、相談などの様々な行政サービスを土曜日・日曜日及び祝日に実施してほしいというものである。子育てにやさしい街づくりを進める上で、そのような市民の声に誠実に応えていくべきと考えるが、どうか。</p>

質問事項	要 旨
1 おおたかの森小中学校の通学路安全対策について	(1) 平成27年4月に、おおたかの森小中学校が開校したが、現在の通学路安全対策実施状況と、信号機設置等を含む今後の三輪野山地区通学路安全対策について問う。
2 県立、市野谷の森周辺公園整備状況について	(1) 千葉県施行の運動公園周辺地区内の1号近隣公園の整備状況について問う。
3 流山本町界限における新たな商業者の出店について	(1) 流山本町界限に出店する流山本町・利根運河ツーリズム推進事業補助金の対象事業者への行政支援の実態について問う。 (2) 流山本町・利根運河ツーリズム推進事業補助金対象事業者の流山商工会議所や流山食品衛生協会等への関わり及び地元の方々との良好なコミュニティは熟成されているのかについて問う。
4 新松戸けやき通りへの道路整備及び神明堀架橋の実状について	(1) 道路整備・神明堀架橋の実現について本市と松戸市並びに地元住民との協議状況について問う。

質問事項	要 旨
<p>1 国民健康保険事業について</p>	<p>(1) 来年度実施に向けて、国民健康保険料改定のパブリックコメントが実施されるが、被保険者の理解を得るため、当局の積極的な努力が求められる。そこで以下の2点について問う。 ア グラフ、表、平易な文章を使って、当市の国民健康保険の背景と現状をわかりやすく市民に説明し、広報、市ホームページで積極的に情報を発信すべきではないか。 イ 市長及び担当課は、市民と忌憚のない意見交換の場を持つべきと考えるが、当局の見解を問う。 (2) 国民健康保険に係る数値目標を具体的に定めた計画をたてるべきと考えるが、当局の見解を問う。</p>
<p>2 健康づくり支援計画について</p>	<p>(1) 当市の健康づくり支援事業は、健康増進課・国保年金課・高齢者生きがい推進課・子ども家庭課・学校教育課など各課にまたがり、予算も分割されている。各事業の目標達成をより効果的に遂行するために、横断的なチームや協議会を設置し、目的を共有する体制が必要と考えるが、当局の見解を問う。 (2) 健康づくりは全市的な市民の機運の高まりが重要だと認識する。外部の企業、商店、市民団体、市民等を含めた健康づくり対策協議会を設置し、一丸となって健康づくりに取り組むべきと考えるが、当局の見解を問う。</p>
<p>3 三本松古墳発掘調査について</p>	<p>(1) 6世紀に造られた古墳そのものが文化財に指定されず、江戸時代に造られた、「飢饉のときも古墳を守った」と記された石碑が文化財指定されている。その経過と当局の見解について問う。 (2) 三本松古墳の発掘にあたり、筑波大学をはじめとする専門家に依頼して「古墳調査指導委員会」が設置され、2回会議が開かれたと仄聞する。会議録を公開すべきと思うが、当局の見解を問う。 (3) 発掘が進む中、石室、周溝、側面の目的不明の穴など徐々にその全容を表しつつある三本松古墳であるが、発掘の進行とともに、古墳は取り壊されていく。子供たちにとっては、生きた歴史の教材となる発掘の状況をリアルタイムで情報発信するべきと考えるが、当局の見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 子供の悩みへの対応について</p>	<p>(1) 内閣府が18歳以下の自殺人数を分析したところ、9月1日が突出して多く、夏休みなど長期休暇が明けた時期に集中していることがわかり、文部科学省は8月上旬に児童・生徒への見守りを強化するなど重点的な対応を求める通知を全国の教育委員会に出した。近年、メールやSNSなどでのいじめも増えており、児童・生徒の悩みも複雑化し、表面上わかりにくくなっていると仄聞している。そこで以下について問う。</p> <p>ア この時期の児童・生徒への対応について気を付けていることはあるのか。</p> <p>イ 市内小中学校の児童・生徒のメールやSNSなどのいじめの現状についてどのように認識しているのか。</p>
<p>2 八木地区のコミュニティ・ホームについて</p>	<p>(1) 流山市は現在、防災などの非常時において自助共助の強化を図っている。八木地区においては各コミュニティ・ホームが地元住民の密なる交流の場として、なくてはならない重要な施設であるが、市では当該施設のあり方が再検討されている。そこで以下について問う</p> <p>ア 現在、地元地域の方々との協議の進捗状況について問う。</p> <p>イ 八木地区のコミュニティ・ホームを廃止した場合、現在の自治会や利用団体の代替施設はどのように考えているのか。</p> <p>ウ 長崎小学校のひよどり学童クラブを移設することになった場合、例えば、学童クラブと地域交流センターを合同施設として、第2コミュニティ・ホーム、若しくは、長崎小学校内に建設するなど検討すべきと考えるがどうか。</p>
<p>3 国道6号線名都借交差点の歩道橋下の災害用発電機の移設について</p>	<p>(1) 国道6号線名都借交差点の歩道橋下に千葉県所有の災害用発電機を国有地に設置しているが、そのことによって東小学校に通う児童やそのほかの歩行者の通行に危険があるとの心配の声がある。そこで以下について問う。</p> <p>ア 災害用発電機は国有地に設置されているが、設置までの経緯について問う。</p> <p>イ 児童やその他の歩行者の安全確保のために災害用発電機の移設を強く要望すべきと考えるが、当局の見解を問う。</p>
<p>4 松ヶ丘の街路灯の有形文化財認定について</p>	<p>(1) 松ヶ丘は、「南柏団地」の分譲から始まり、58年を経て今もなお、東部地区の閑静な住宅街の一つとなっている。その地域の暮らしを50年以上守ってきた街路灯を有形文化財として残したいとの地元住民の声が多くあり、この街路灯を有形文化財として認定してはどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 「母になるなら、流山市。」の行政評価について</p>	<p>(1) 流山市は行政評価の成果指標として「まちづくりアンケート」を使用しているが、その標本構成は居住歴 20 年以上が多数を占めている。定住人口増を目指して人口獲得を実現してきた流山市にとっては居住歴が浅い市民からの回答も評価上重要と考えるため、偏りの評価や補正、別途アンケートの実施等が必要だと考えるがどうか。</p> <p>(2) 市には様々な計画があり、統計データや推定量が掲載されているが、品質面でばらつきがある。データサイエンティスト等の専門家にアドバイスを貰うなど、品質向上の取り組みが必要だと考えるがどうか。</p> <p>(3) アンケート回答は、個人情報除外した上でオープンデータ化を試行してみてもどうか。</p>
<p>2 「母になるなら、流山市。」の戦略について</p>	<p>(1) 流山市は流入人口のメインターゲットを共働きの子育て世代 (DEWKS) としているが、流山市子ども・子育て支援総合計画の 1 号認定の子どもの入所率から類推すると全体では 4 割弱である。人口減少時代の中にあっても、発展し続ける仕組みを構築し、豊かな地域社会を創出するためには「母になるなら、流山市。」を選んだ女性の実態を把握し丁寧な政策を実施していく必要があると思うが、当局の見解と今後の対応について問う。</p> <p>ア 女性活躍と言われる中で、専業主婦の方々のキャリア形成支援が手薄と感じる。流山市では中長期的な視点でキャリア形成を支援していく仕組みになっているか現状を問う。特に育児中の生涯学習の機会と一時保育の充実、社会的な需要が高い保育従事者増に向けた教育プログラムの設計、さらに育児がひと段落した時の再就職のサポート等の観点から当局の見解を問う。</p> <p>イ 子育ての様々な課題を自律的に解決する可能性がある、妊娠期から当事者間のつながりをつくる子育て支援を目玉施策として実現できないか。</p>
<p>3 「学ぶ子に答える、流山市。」の教育行政について</p>	<p>(1) 流山市では私立の幼稚園・保育園が多いことから個別・多様な教育プログラムが展開され、小 1 ギャップが懸念される。小学校の学習指導要領でも、幼・保・小の連携が明記されているが、流山市の対策について現状を問う。</p> <p>(2) 経済協力開発機構 (OECD) のレポートにもあるが、日本の教師の勤務時間は世界最長といわれ、業務過多が懸念される。第一に子ども達に向き合う時間を大切にしてほしいため、定型業務の効率化に定評のある「校務支援システム」の積極利用を検討してみてもどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 中学生の授業実施形態について</p>	<p>(1) 中学生の授業において、特に数学や英語は積み重ねの学問といわれ、低学年の学習内容がある程度理解できていないと高学年の授業が理解できない特徴がある。そこで以下の3点について問う。</p> <p>ア 各中学校では数学や英語について習熟度別にクラスを分けたり、1クラスに複数の教員が入って授業を行ったりと、生徒の学力を上げるための取り組みをしていると仄聞している。流山市独自で行っている取り組みの現状はどの様になっているか。また、その成果が数字で表せるものがあるか。</p> <p>イ 教職員の体制による学校間格差が生じない様にするためには、一律で授業が実施できるのが良いと考えている。細部は学校別で対応するにしても大きな方針として一律で授業を実施するように指導をしてはどうか。</p> <p>ウ 今後、文部科学省から、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶアクティブ・ラーニングという指導方法が導入される予定であるが、流山市としてどのように対応する予定か。</p>
<p>2 次期流山市総合計画の策定における、幅広い意見収集について</p>	<p>(1) 中学生や高校生、女性などによる模擬議会、会議が全国各地で開催されている。これは、今後選挙権を持つ若者や、市の将来を担う子育て世代に政治に興味を持ってもらえる良いきっかけになると考えている。流山市でも次期総合計画の策定にあたって同様の取り組みをすると良いと思う。そこで以下の3点について問う。</p> <p>ア 平成10年に子ども議会、女性会議と、新成人による未来会議が開催され、そこで出た話題が現在の総合計画に盛り込まれている。そこで、次期総合計画の策定に向けて、今から同様の取り組みについて検討の準備を進めているか。</p> <p>イ 各取り組みとも、一年近くかけて準備をした経緯があるが、いつごろから取り組む必要があると考えているか。</p> <p>ウ 地元意識を高めるには、市内小中学生が最も効果的であると考えているが、小学生までに対象を広げて実施してみてもどうか。</p>
<p>3 大規模プロジェクトの効果検証について</p>	<p>(1) 中核市である柏市では、つくばエクスプレス沿線の開発状況について、包括外部監査を行ってその結果報告をインターネットで公開している。「計画」、「実績」の対比があり、市がいくら出したか、県や国からいくら補助があったのかが表示されており、市民にとって非常にわかりやすい報告である。税金の使用法の明確化にもつながっており当市でも同様の取り組みをしてはどうか。そこで以下の3点について問う。</p> <p>ア 柏市で実施されたつくばエクスプレス沿線事業を参考に、流山市でも同様の分析が出来ないか。</p> <p>イ 既にプロジェクト開始後数年経過している小山小学校PFI事業などについて同様の分析をしてみてもどうか。</p> <p>ウ 今後は、流山市民総合体育館など現在進行形のプロジェクトについても同様の分析を実施してみてもどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 つくばエクスプレスと沿線開発について</p>	<p>(1) つくばエクスプレスの早期 8 両編成化について、6 月議会では「6 月 25 日の株主総会終了後に具体的な検討と経営計画への明確な位置付けを要望する」と答弁したが、その結果と運営会社である首都圏新都市鉄道株式会社の回答はどういうものだったのか。</p> <p>(2) 市施行の鱒ヶ崎思井地区事業について、現計画通りの事業完成は難しいと思われる。これまでの歴史的経過を踏まえれば、一日も早い計画変更案の提示と住民・地権者への説明会開催、市民への説明責任を果たす必要があると思われるがどうか。</p> <p>(3) おおたかの森小中学校の通学路の安全対策について ア 都市計画道路加市野谷線が全線開通前であっても、交通量の増加と児童生徒の安全確保を加味し、現在 T 字路となっている市野谷地先への信号機設置を急ぐべきではないか。 イ 都市計画道路芝崎市野谷線が一部開通し、二学期から登下校に利用できることとなったことから、防犯灯設置を早急に対応すべきではないか。</p>
<p>2 地域防災計画における取り組み強化について</p>	<p>(1) 減災の取り組みについて (2) 災害時の体制について ア 非常勤職員に対する災害補償の格差是正について イ 要援護者の安全確保対策では「民生委員・児童委員においては、災害時要援護者の安否確認に関わるマニュアルの整備や、それに基づく訓練の実施を検討する」と位置づけられているが、現在の到達と今後の取り組みについて</p>
<p>3 地域経済の活性化について</p>	<p>(1) 小規模企業振興基本法を活かした取り組みについて (2) プレミアム商品券の効果、課題について (3) 昨年 11 月、農業委員会から提出された市への建議書に対する回答はどういう内容だったのか。農家の願いに沿った農業政策を充実するために今後の取り組みについて問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 新川耕地スポーツフィールド移転先の現在の進捗状況と今後について</p>	<p>(1)新川耕地スポーツフィールド移転先に関する現在の進捗状況について下記3点について問う。 ア 平成27年7月15日から8月31日まで新川耕地スポーツフィールドの移転先候補地を公募したが、その中から候補地を決定する選定基準について イ 移転策を確保した後、多目的広場や駐車場など具体化していく中で再度その使用目的と計画内容について ウ 新しいスポーツフィールドとして整備するまでの工程について</p>
<p>2 スポーツ振興策について</p>	<p>(1)2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を機に、本市のスポーツ振興策の充実を図るべきと考える。そこで下記3点について問う。 ア 昨年第3回定例会で市長が明言したスポーツ単分野の賞の創設について、現状はどのようなになっているのか。 イ 学校における部活動はもちろん、児童生徒を対象としたスポーツ振興のためには、指導者間の交流や専門的な技術をもった外部指導者等の活用が欠かせないと考える。さらなる本市児童生徒のスポーツ環境整備やスポーツ振興策について問う。 ウ 子供たちがボール遊びできる広場の実現について</p>
<p>3 市の再生可能エネルギーに対する取り組みについて</p>	<p>(1)駒木台に所在する市有地の太陽光発電事業の進捗状況について問う。 (2)当局の太陽光発電事業、補助事業の現状と課題について問う。 (3)太陽光発電事業以外に再生可能エネルギーに対する取り組み方針の見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
1 生活保護行政について	<p>(1) 生活保護法の 4 つの原理について問う。</p> <p>(2) 8 つの扶助と一時扶助について問う。</p> <p>(3) 生活扶助基準と住宅扶助基準限度額の引下げは、憲法第 25 条に反するのではないか</p> <p>(4) 医療証の交付について</p> <p>(5) 生活保護基準は、住民税非課税基準や就学援助、国保料、介護、医療の自己負担、保育料など、多くの制度の給付水準や適用水準となっているが、流山市の各種制度にどんな影響があるのか明らかにすべきと思うがどうか。</p>
2 就学援助について	<p>(1) 保護基準引下げによって就学援助から外されることがないように、引き続き平成 25 年 4 月の生活保護基準での実施を堅持すべきではないか。</p>
3 住民税問題について	<p>(1) 住民税の決め方について、控除を漏れなく防ぐ手立てをどのようにしているのか問う。</p>
4 東部近隣公園の整備について	<p>(1) 東部近隣公園のグラウンド・ゴルフ場などは降雨後、2、3 日は使えなくなるとの訴えが住民から寄せられているが、対策を講じるべきではないか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市の道路行政について</p>	<p>(1) 多数の市民が利用する「生活道路」の充実を最優先にすることを基本にすべきだと考えるがどうか。</p> <p>(2) 車両通行による住宅への振動被害について問う。</p>
<p>2 市民の健康増進対策について</p>	<p>(1) 医療も介護も「在宅」という流れが進められる時、流山市としてどう対応するかを問う。</p> <p>(2) 身近な「健康相談所」として、市内調剤薬局との連携による「健康増進施策」を研究する考えはないか。</p>
<p>3 海上自衛隊下総航空基地の今後と流山市への影響について</p>	<p>(1) 「安保法制」を先取りした自衛隊の「基地強化・再編」の動向について問う。</p> <p>(2) 自衛隊機等の騒音被害など、将来も見据えた流山市への影響と対策について問う。</p>

質問事項	要 旨
1 市長の政治姿勢について	<p>(1) 政府与党は衆議院で安保法制＝戦争法案を強行採決したが、一方で、かつてない国民各階層の運動が広がっている。会期末をひかえた緊迫した国会情勢の中で、政府与党は再度強行採決をやるべきではないと考えるが市長の見解を問う。</p>
2 介護保険について	<p>(1) 8月から実施された介護利用料の2割負担は利用者、家族にどのような影響を広がっているのか。</p> <p>(2) 特別養護老人ホームへの入所が原則要介護度3以上とされたことの影響について</p> <p>(3) 8月から制度が見直しされた施設入所者への「補足給付」申請の状況、資産等による除外の影響、及び、食事代、多床室における居住費値上げの影響について</p>
3 国民健康保険について	<p>(1) 国保料の負担率は共済や健保などに比べて重い、低所得層が多数を占める国保加入者の生活実態をどうとらえているのか。</p> <p>(2) 国は財政基盤の強化のため、平成27年度に1700億円を予算化、さらに平成30年度に1700億円の財政支援の拡充をするとしているが、流山市国保への影響はどうか。</p> <p>(3) 無保険や正規保険証がなく「医療にかかれない」低所得層が増え、国民皆保険制度が揺らいでいる。貧困と格差拡大に対して、自治体としてどう向き合うかが問われており、いま国保料の値上げはやるべきではないと考えるがどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 防災対策について</p>	<p>(1) 大規模な災害が発生した際、まずは水の確保が重要と考える。そこで以下 2 点について問う。 ア 市内の災害用井戸の中には飲用水として利用できない箇所があるが、災害時における当該地域の飲用水の確保はどのように対応されるのか。 イ 他の自治体では学校や公民館等の公共施設の受水槽に応急給水栓を整備し、飲用水の確保に取り組んでいる。本市でも取り組むべきと思うがどうか。</p> <p>(2) 市民の中には近くに備蓄倉庫がなく、公園などに備蓄倉庫の新設を求める声がある。市では平成 28 年度までに全ての小学校に備蓄倉庫を新設するとしているが、市民の声に応え、公園などにも新設すべきと思うがどうか。</p> <p>(3) 大規模地震の際、家具の転倒による被害が懸念される。これまで以上に家具転倒防止対策の徹底を図ると共に、転倒防止器具の取り付けが困難な高齢者のみの世帯や要介護・要支援者のみの世帯に家具転倒防止対策を講ずるべきと思うがどうか。</p>
<p>2 流山子ども専用いじめホットラインについて</p>	<p>(1) 流山子ども専用いじめホットラインについて、以下 2 点について問う。 ア 流山子ども専用いじめホットラインのこれまでの周知方法や利用状況、成果について イ 電話でのサービスを基本としているが、現在の ICT 普及を考えると、メールやスマートフォン用アプリを活用した相談窓口も設置すべきと思うがどうか、当局の見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 つくばエクスプレス高架下の活用について</p>	<p>(1) つくばエクスプレス高架下は、現在首都圏新都市鉄道株式会社の所有地であるが、同社によれば収益増に関する内容であれば協議は可能であることを確認した。流山おおかたの森駅と流山セントラルパーク駅の駅カンにおいて流山市の魅力や新たな特色ある場として活用することが有効と考えられるが、当局の認識と今後の対応について問う。</p> <p>ア 当該高架下の有効活用についてどのように認識しているのか。</p> <p>イ 今後の取り組みについて当局の見解を問う。</p>
<p>2 空き家対策について</p>	<p>(1) 現在、流山市では土地区画整理事業による住宅販売促進や民間の新築マンション建設などが行われているが、一方、少子高齢化で空き家も増加している状況であり、住宅供給過剰になる恐れもある。昨年発足した「流山市高齢者住み替え支援制度」や今年の5月に施行された「空き家対策推進特別措置法」を活用して空き家対策を行うことが重要であると考えられるが、以下の点について問う。</p> <p>ア 「流山市高齢者住み替え支援制度」の進捗状況について</p> <p>イ 「空き家対策推進特別措置法」をどのように活用する考えか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 まちづくりの基本方針について</p>	<p>(1) 次期総合計画前期基本計画の策定に向けた事前準備策として、以下4点について問う。 ア 将来人口の算出方法について問う。 イ 行政機能を新市街地地区に完全移転した場合のシミュレーション実施の可能性について問う。 ウ 中央消防署の立地場所の見通しについて問う。 エ 千葉県北西部のまちづくりに当たって、各種行政機関の誘致について問う。</p>
<p>2 コミュニティの活性化策について</p>	<p>(1) 地域創生に向けてはコミュニティの活性化が求められている。そこで以下2点について問う。 ア 地域夏祭りの開催状況はどうか。また抱えている課題はどのようなものがあるのか。 イ 江戸川台西自治会では自治会の積立金などを利用して「お買物券」として会員に還元する取り組みを行い、好評を博したと仄聞している。他地域への普及の可能性について問う。</p>
<p>3 動物に優しいまちづくりについて</p>	<p>(1) 全国的に犬・猫殺処分ゼロ社会への機運が高まっている。そこで当市の愛護推進策について問う。 ア 平成26年度の殺処分数はどのような状況か。 イ ペット同行型の避難訓練の可能性について問う。 ウ 動物愛護条例策定の可能性について問う。</p>
<p>4 安全対策について</p>	<p>(1) 都市計画道路3・5・22号線（東深井中学校入り口付近）の安全対策について問う。 (2) 西深井工業団地から新川耕地スポーツフィールドまでの市道213号線の交通状況と今後の見通しを問う。</p>

質問事項	要 旨
1 認知症対策について	<p>(1) 認知症は、どこまで症状が出たら相談すればよいのか判断しづらい面があり、さらに、家族が認知症であることに気づかず、症状が進んでしまう場合もある。そこで、市のホームページで簡単に認知症のチェックができる「認知症簡易チェックシステム」のサービスを始める自治体が増えていることから、流山市においても導入を検討してはどうか、見解を問う。</p> <p>(2) 市内で定期的開催されている「認知症サポーター養成講座」は、高齢化が進む中、子どもたちにも認知症への理解を促し、より幅広い年齢層にサポーターになって頂くことで、地域全体で支える仕組み作りにつながっていくと考える。そこで、市内小中学校での「認知症サポーター養成講座」を推進してはどうか、当局の見解を問う。</p>
2 教育行政について	<p>(1) 新設のおおたかの森小中学校を除く市内小中学校においては、昨年度から2年間をかけてエアコンが設置された。おおたかの森小中学校は、風の通る設計であることから、エアコンの必要性はないとの判断で設置されていないが、今夏の猛暑の中で、設計上の効果はどうだったのか、また、地球温暖化による気温上昇を考えると、来夏に向け、エアコンの設置が必要と考える。当局の見解を問う。</p>
3 空き家対策について	<p>(1) 本年「空家等対策の推進に関する特別措置法」が施行された。流山市においても、平成24年4月に「流山市空き家等の適正管理に関する条例」を施行し、防災面や衛生面などで地域に深刻な影響を及ぼす空き家問題の解決に取り組んでいる。そこで、次の点について問う。</p> <p>ア 流山市における、空き家対策の現状と今後の取り組みについて問う。</p> <p>イ 今回特措法が施行されたことにより、どのような点が変わるのか問う。</p> <p>(2) 全国初の試みとして、昨年12月1日に施行された「流山市高齢者住み替え支援要綱」について、利用状況、課題、さらに、今後の取り組みについて問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 放射能汚染に伴う健康対策について</p>	<p>(1) 2015年7月10日から8月8日にかけて子ども被災者支援法の基本方針の改定案についてのパブリックコメントの募集が行われ、8月25日にほぼ改定案どおりの閣議決定がなされた。2013年に実施されたパブリックコメントには応募するなど、国に対して支援法の趣旨の尊重を求めてきた流山市は、この度の改定内容をどのように受け止めているのか。また改定を受けて、放射能汚染に伴う健康対策について、今後どのような対応を行っていく考えか。</p> <p>(2) 北茨城市が2013年度より実施してきた子どもを対象とした甲状腺検査において、2014年度に検査を受けた18歳以下の子ども3593人のうち3名、0.083%が甲状腺がんと診断された。また福島県では38万人中がんとがんの疑いが127人で0.033%、事故前の2010年の有病者数の数十倍となっている。この事態を流山市はどう受け止めているのか。事故後1年間の1歳児の放射線の甲状腺吸収線量が北茨城市より高かった流山市においても、子どもの甲状腺検査が強く求められていると考えるがどうか。</p>
<p>2 指定廃棄物の管理のあり方について</p>	<p>(1) 秋田県下の自治体から流山市に返却された指定廃棄物は現在どのように管理されているのか。その現状についてどのように考えているのか。また今後どのような対応を考えているのか。</p>
<p>3 流山市発注契約に係る労働環境確認に関する要綱の運用について</p>	<p>(1) 流山市発注契約に係る労働環境確認に関する要綱は、2015年2月1日から本格実施となったが、対象となる予定価格を下げ、また労働環境申告の期限を「契約締結後21日以内」から「契約締結後速やかに」と変更し、また「いいえ」と回答した場合はその理由を示すよう求めることにしたのはなぜか。業務委託と工事請負が事業者によって労働環境申告書どおりに実施されているかどうかをどのようにチェックしているのか。委託事業の労働者の賃金はいくらか。委託化が進んでいる学校給食業務はこの要綱の対象となるのか。また本格実施後は、試行段階と比べてどのような政策効果が上がっているのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 地方版創生戦略の策定に伴う福祉行政について</p>	<p>(1) 政府は昨年末の臨時閣議で、地方創生に向けた長期ビジョンと、今後5年間の総合戦略を決定した。総合戦略には大都市圏の大規模団地を福祉拠点化する構想や、子育て世代を支えるワンストップの相談支援機関を全国展開する構想を盛り込んだ。これを受けて、地方自治体は平成27年度中に地方版総合戦略の策定を努力義務としているが、本市では地方版創生戦略を策定する予定なのか。また、策定するのであれば指針をどのように考えているのか。</p>
<p>2 教育行政について</p>	<p>(1) 文部科学省は、全国の学校に対して生徒の自殺予防に取り組むよう通知を出した。この通知は、岩手県で中学校2年生の男子生徒がいじめを苦に自殺したとみられる問題を受け、新学期を前に出したものであるが本市ではどのような対策組織をつくり、対応していくのか。</p>
<p>3 西平井・鱈ヶ崎地区、鱈ヶ崎・思井地区の区画整理事業の字の区域及び名称の変更状況について</p>	<p>(1) 今年度、行政区域制度審議会を開催しているが、その状況はどうなっているのか。 (2) 今後の予定は、どのようになるのか。また、議会への提出は、いつになるのか。</p>
<p>4 本市の歳入確保策及び、経費削減について</p>	<p>(1) 本市では、財政の健全を維持するにあたり、さまざまな自主財源の確保、経費削減に努めている。他市では、市民からの要望事項を実現させるために、歳入確保策について市民や市職員の知恵と工夫を駆使し、多種多様な取り組みがされているが、本市では今後の歳入確保策についてどのような取り組みを考えているのか。</p>

質問事項	要 旨
1 防災対策について	<p>(1) 本市の地域防災力向上に向け以下のとおり問う。</p> <p>ア 首都直下型地震など、大規模な地震によって同時多発的な火事が発生した時に道路の損傷や建物の倒壊、交通の混乱により市の消防だけでは対応が非常に困難になると予想される。木造住宅密集地域などで消防隊が到着するまでの初期消火に役立ち軽量で操作も簡単な市民にも使いやすく消火能力の高いスタンドパイプ消火資機材を導入すべきと考えるがどうか。またスタンドパイプ消火資機材に対して補助制度を導入すべきと考えるがどうか。</p>
2 地域猫活動の支援について	<p>(1) 先月、東部地域の自治会の協力を得て行っている地域猫活動の取り組みが初めて成功し、千葉県に不妊去勢手術の申請を提出したと仄聞している。具体的にどのような取り組みをされて成功したのか。</p> <p>(2) 地域猫のボランティア活動をされている方の要望で、野良猫と飼い猫の区別がつかないので飼い猫に首輪等の目印をつけてほしいと仄聞している。そこでペットに関するマナーについて市の広報やホームページで周知してはどうか。</p> <p>(3) ボランティアの方が近隣の住民から誤解を受けないよう地域猫活動のネームプレートや腕章の作成に対し市で助成してはどうか。また、市でどのような協力体制ができるか問う。</p>
3 交通安全対策について	<p>(1) 交通安全指導者マニュアルの策定について以下のとおり問う。</p> <p>ア 本市における交通安全教育は現在どのように行われているのか。</p> <p>イ 大阪府豊中市ではこのほど交通安全指導者マニュアルを作成し、全小学校区ごとに地元の通学路の画像を使って危険箇所の注意点を示し、交通ルールの理解を促す交通安全教室を開催するなどの取り組みを行っている。本市においても導入すべきと考えるが当局の見解を問う。</p>